

患者様へ

「持続的腎代替療法の希釈法による回路ライフタイムに関して」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者様のお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2022 年 1 月から 2023 年 10 月に当院集中治療室で持続的腎代替療法 (Continuous renal replacement therapy: CRRT) を実施した方
2 研究目的・方法	CRRT における希釈法は後希釈法が主流とされていますが、医療機器の発展から前希釈法にて施行できるものも増えてきました。一般的に、透析膜の後で補液の注入を行う後希釈法では透析膜内で血液濃縮が起きやすく、回路内凝固が懸念されます。逆に透析膜の前で補液の注入を行う前希釈法では上記の懸念はなくなりますが、後希釈に比べると小分子量物質の除去効率が劣るとされています。 CRRT は重症の患者様に使用することが多く、CRRT 回路のライフタイムの延長が望めます。CRRT 回路のライフタイムは CRRT を回路内凝固なく施行できている時間であり、透析膜を含む回路内にて凝固が起こるとライフタイムは短くなります。 この研究では CRRT 回路のライフタイムの指標として CRRT 回路凝固の発生頻度について検討します。 研究の期間: 施設院長許可後 (2024 年 2 月頃) ~ 2024 年 8 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者様もしくは患者様のご家族等で患者様の意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、病歴、CRRT 実施データ (実施時間、使用機器の種類等) 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 猪俣隼人 湘南鎌倉総合病院 臨床工学部 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号: 0467-46-1717